

唇顎裂患児に対する手術前の顎裂形態が術後の顎裂部骨形成の成績に与える影響に関する研究へのご協力をお願い

この度 神奈川県立こども医療センター形成外科では「唇顎裂」患者さんを対象に「CT 画像を用いた唇顎裂の手術後の骨形成に関する研究」についての調査研究を行っております。この研究は今後、唇顎裂児の歯槽歯肉骨膜形成術(あごの手術)の成績を向上させるために役立つと考えています。

研究課題名:唇顎裂患児に対する手術前の顎裂形態が術後の顎裂部骨形成の成績に与える影響に関する研究

研究の目的:唇顎裂患児は生来、顎裂部(上あご)に骨がない。生後 6 か月頃に行う手術により骨が形成されるが、骨形成が不十分なこともある。手術の前にどのような形態ならば骨形成が良いのか、あるいは悪いのかを以前に治療として撮影された CT を用いて検討する。

研究に利用する情報の項目:顎模型および CT 画像

研究対象の範囲:2001 年から 4 年間に片側口唇顎裂で歯槽歯肉骨膜形成術を行った患児で顎模型を採取し、かつ CT 画像を撮影した方

情報の管理について責任者: 神奈川県立こども医療センター 形成外科 小林眞司

本研究はヘルシンキ宣言(2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版)及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(2014 年 12 月 22 日(2017 年 2 月 28 日一部改訂))に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。

また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

研究者の開示すべき利益相反についての記載

・本研究は企業等からの資金提供は受けておりません。

オプトアウトに対する記載

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。データを削除します。しかし、その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、公表後は情報の削除ができないことをご了承ください。

連絡先 研究責任者 形成外科
小林眞司

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局

Tel:045-711-2351 内線 2212